

いざ参院選へ くらしを守り、戦争しない日本を



「参院選で政治を変えよう」とアピールする若者憲法集会の参加者 (6/9)

消費税10%増税、9条改憲が争点となる夏の参院選。増税と改憲を許すのか、それとも市民と野党の共闘で、くらしを守り、戦争する国に変えさせない政治を誕生させるのかが問われています。こうした中、5月25日には辺野古国会包囲行動(国会前、総がかり行動実委ほか)、横田市民交流集会(福生市、同実委)、6月9日には若者憲法集会(青山公園、同実委)が開催され、基地建設・強化反対、改憲阻止の声を上げています。

安倍政権が、反対の民意を無視して辺野古新基地建設の強化や、横田基地強化とオスプレイ配備をすすめる狙いは、日本を戦争する国につくり変えることにあります。戦争するためには9条改憲が必要です。しかし、改憲の呼び水としていた国民投票法の審議は、改憲反対の運動や市民と野党の共闘に阻まれ、国会の成立を見送るなど、改憲スケジュールは大きくずれこんでいます。自民党は改憲を参院選の争点にし、選挙後に改憲論議を本格化させる構えです。改憲を断念させるには、運動の担い手を広げ、3000万署名を早期に集めることがカギです。

辺野古国会前包囲行動(5/25)の国会図書館前で、3000万署名10万筆目標を達成した東京医労連書記局の細見海上を見ると右に大きく広がるアメリカ海軍施設、その対岸に海上自衛隊施設がありました。旅客船や貿易船ではなく、イージス艦や補給艦、潜水艦が所狭しと停泊しています。ツアー船は毎日午前から午後にかけて1時間おきに運航。かつては半島とつながっていましたが、水路(新井堀切水路)がつくられ、半島から切り離された島をぐるりと回る45分間の軍港めぐりです。軍事機密も多いので、いづいかな船が入港し出港するかも定かでないため、当

横須賀軍港めぐり

東京パ非連 平和レク



米軍のイージス艦 (6/1 横須賀港)

6月1日、東京地評パト・非正規労働者連絡会は平和レク企画として「YOKOSUKA軍港めぐり平和散歩」を実施し、学び交流しました。当日は天気も良く、軍港めぐりには最適でした。「軍港」と言うだけあり、見える景色は、普通の港町とは全く違っています。港から

第6回労安学校に63人

いの健東京センター



5/18 ラパスホール

働くもののいのちと健康を守るための健康意識と職場の改善、そして安全衛生学校を開催し、63人が参加しました。今回は、産業界で労働衛生コンサルタントの服部真先生(医学博士)が「働くものの本当の健康」と題した講義を行い、4つの職場からの特別報告で労働安全衛生活動を交流しました。講義では、①経済格差と

いのちの格差、②働き方と健康問題、③現実を直視する、④健康のために社会を作り変える、の4つの視点で問題提起がなされ、働くもののいのちと健康を

全労連・東京地評 争議支援総行動

2300人が参加



明治ホールディングス前 (5/30)

5月30日、全労連・東京地評争議支援総行動を行ない、4コースに分かれて19

方日は産、明治乳業、JALで、集中行動としました。また、東京地裁、東京高裁、中労委要請も実施し、全体の参加者はのべ2



ショートカット

全労連関東甲信越ブロック 女性交流会 5月12日、さいたま共済会館で開催され、57人が参加しました。今後の行動提起と10都県の取り組みについての報告のあり、国公労連・井上伸中

6月8~9日、「貧困と格差の解消!同じ仕事なら同じ待遇を!ともに考え運動をつくらう!」をスローガンに、山口で開催し、延べ710人が参加しました。1日目の全体会は、「キャンドル革命から最賃1万ウォンの実現へ」と題して呉学殊氏が講演。2日目は10のテーマで分設会が行われました。

6月10日、東京都教科書採択問題連絡会(事務局・東京地評と子どもと教科書ネット21)は、今年夏に全国で採択される小学校教科書の内容を考慮し、運動を交流する集会をエテユカス東京で開催し、42人が参加しました。「子どもと教科書全国ネット21」・鈴木敏夫事務局長による基調報告の後、地域の取り組み報告、小・中学校の教職員から報告がなされました。

5月18日、エテユカス党・里吉ゆみ都議の連帯あいさつのもと、「小学校教育の実現、長時間労働